令　和　４年　度　モニタリングシート

【施設名等】

施設名	大洲市肱川高齢者生活福祉センター	位　置	大洲市肱川町宇和川６５－１
指定管理者名	医療法人　恕風会	所管課	高齢福祉課 TEL0893-24-1714

【施設の概要】

設置年月日	平成５年５月1日	構造	本館：鉄筋コンクリート平屋建 別館：木造平屋建
設置目的	高齢者に対して、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるように支援し、もって高齢者の福祉の増進を図る。		
施設機能	本館 ： デイサービス事業（ホール兼食堂、機能訓練室、一般浴室、特殊浴室等）、支援ハウス事業（単身用4室、夫婦用3室） 別館 ： 障害者の日常生活訓練等事業		
利用料金等	・デイサービス事業：介護報酬の1割、２割又は3割及び実費 ・支援ハウス事業：条例第10条の利用料金、光熱水費、供用雑費 ・障害者の日常生活の訓練等事業：交通費、材料費		
開館・閉館	・デイサービス事業、障害者の日常生活訓練等事業の休館日 …12月30日から1月3日 ・生活支援ハウス…年中無休		
指定管理業務内容	・大洲市老人デイサービスセンター肱流苑 ・生活支援ハウス ・障害者の日常生活の訓練等事業		
施設管理体制	・デイサービスセンター：管理者1名、生活相談員3名、看護職員4名、介護職員12名、 機能訓練指導員4名、調理員3名、環境整備員3名 支援ハウス：管理者1名、生活援助員3名 ・障害者の日常生活訓練等：管理者1名、生活支援員2名 （いずれも兼務、非常勤職員を含む）		

【施設利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
R04年度	854	865	924	888	781	788	837
R03年度	789	802	842	904	828	870	901
比　較	65	63	82	△ 16	△ 47	△ 82	△ 64

	11月	12月	1月	2月	3月	計
R04年度	846	757	731	797	901	9,969
R03年度	896	851	796	785	866	10,130
比　較	△ 50	△ 94	△ 65	12	35	△ 161

【指定管理者としての収入・支出（決算）】

収入内訳	収入金額	支出内訳	支出金額
指定管理料	1,571,574	材料費	2,724,127
通所介護事業	63,323,128	通所介護事業費	63,422,661
介護予防・日常生活支援事業	18,875,279	介護予防・日常生活支援事業費	25,946,388
生活支援ハウス事業	1,089,299	生活支援ハウス事業費	4,839,902
精神デイサービス事業	0	精神デイサービス事業費	272,178
市・県補助金収入	1,964,289		
雑収入	471,099		
受取利息	72		
合　計	87,294,740	合　計	97,205,256

【サービス向上に向けた取り組み】

R04年度	・新型コロナウイルス感染症については、感染委員を中心に職員全体で意識を共有し、感染対策の徹底を図った結果、職員間や利用者間で大きく感染拡大することなく営業を継続することが出来た。 ・本年度より認知症加算を新設し、認知症介護実践者研修修了者3名を中心に、認知症の専門知識を活かしながら、利用者おひとりお一人に合わせた「認知症の症状緩和に繋がるプログラム」を作成し提供している。認知症ケアの充実を図り、認知症の方の症状の緩和や予防に取り組んでいる。 ・業務改善の一環として、ICT機器やソフトウェアの導入を進め、今まで手書きで行っていた各種記録のICT化を図り、事務量の軽減を実現した。業務改善により生み出された時間を利用者とのコミュニケーションやケアの充実に充て、より質の高い介護サービスの向上に努めている。
R03年度	・昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として、国や県から通知等を受け、その都度緊急感染委員会を開催して、感染状況に応じた対策を取り決め、全職員が共有し徹底を図っている。また利用者やご家族にも文書等でご協力を仰ぐことで、感染予防に努めることが出来た。 ・感染予防対策の一環として、手洗い場を非接触の自動水栓に改修し、より利用者の安全性を高めた。また、感染予防のため中止していた外出行事については、ドライブに変更し、季節を感じながら気分転換と閉じこもり予防の機能訓練の両面から利用者の支援に繋げている。 ・利用者が自主的に取り組まれているペン習字や川柳、裁縫などの創作活動については、新たにテッシュケースカバー作りやスクラッチアートを加え、さらなる活動の充実を図ったところ、大変好評となり多くの方が積極的に取り組まれ、楽しみや生きがいの一つとなっている。 ・本年度より、口腔機能向上加算を新設し、口腔機能や嚥下機能の向上、口腔ケアの充実を図っている。美味しく食べる喜びと共に誤嚥性肺炎の予防に努めている。また、認知症介護実践者研修を2名が修了し、認知症の症状の緩和に繋がるケアを提供する認知症加算の新設に向けて準備を整えている。

【利用者から要望と対応状況】

利用者からの苦情・要望等	利用者からの苦情・要望への対応
入浴されていない利用者の連絡帳に入浴実施の〇が付いていた。	利用者様ごとの連絡帳については、バイタルや食事量、入浴等の加算やその日の状況などを手書きで記載してお渡しすることになっているが、記入の際に転記ミスが生じることがあった。書類のICT化により手書きでの転記作業が不要となり、連絡帳についても確実な内容でお渡しすることが出来るようになった。

【指定管理者の自己検証】

・令和4年度の利用者総数は9，969人で、対前年度比98．4％、△161人の減少となっている。収支については収入が87，294，740円（対前年比101．6％）、支出が97，205，256円（対前年度比108．6％）となった。結果、収支については△9，910，516円の大幅な赤字となった。7月頃からのコロナウイルス第7波の影響により、感染対策を徹底しながらの営業であったが、市内の各施設でも感染が広がったことから、利用者様のご利用控えもありコロナ禍の営業としては引き続き厳しい状況となった。
・令和4年度の愛媛県ICT機器導入補助金を活用し、ICT機器やソフトウェアの導入のための職員研修や検討会を実施しながら進めた結果、記録等のICT化による業務改善を実現することができた。これにより生み出された時間については利用者様とのコミュニケーションやケアの充実を図るほか、職員の人材育成やチームケアの向上など、介護サービス全体の質の向上を目指している。また職員の業務の効率化により定時で帰れる職場環境を整えることで、職員にとっても働きやすい職場づくりに取り組むことができた。今後ともこれらを積極的に実施することで、厳しさを増すと思われる職員の人材確保や定着を目指していきたい。

【施設所管課の検証・評価】

事業実施については、指定管理に関する基本協定書及び仕様書の内容を満たしている。
創作活動について、新たな諸活動を加わえることで、利用者の満足度を高めることに務めていた。
また、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、感染防止にも努めていた。
令和3年度年間利用者数が 9,969 人と、前年度より161 人減少しており、新型コロナウイルスによる利用控えが起因しているものと思われる。引き続き、更なるサービスの向上を図っていただきたい。